

田舎の風景



カバ木彫り土産



NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会 ORMZ ニュース第 33 号 (H26.11.3)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄



はじめに 早 11 月、朝夕気温が下がり、秋から冬へと天候が変わっていくことを感じますね。気候の変化、気温の変化が以前より大きい感じですので、皆様体調管理にご注意ください。

皆さんからもご心配をいただいているエボラ出血熱ですが、幸いなことにザンビア共和国では発生していませんのでご安心ください。

会の経過報告 先日経過報告をいたしましたので今回は会として特にご報告することはありません。

今回は、ザンビアに戻った山元先生からの報告をお伝えします。

早速ルアノ地区での追加の井戸掘削についての対応がすすんでいるようです。

なお、当法人のホームページ (<http://ormz.or.jp/>) や、市民活動を寄付で応援する総合サイト「アタラコ」に登録しました当法人のアドレス (<http://ataraco.com/info/archives/1684>) をご覧いただき、お友達にもお知らせ頂けるとありがたいです。今後とも賛助会員増などにご協力ください。

賛助会費の納入について 今年は本当に多くの方から賛助会員になっていただき、心から感謝申し上げます。そのような中恐縮ですが、26 事業年度 (26 年 1 月から 12 月です) の賛助会費をまだ納入されていない方は、どうぞ賛助会費(一口 5000 円、一口以上) の納入をお願いします。納入したかどうかわからない際は、法人代表 info@ormz.or.jp または日高 (hidaka1956@gmail.com) へ連絡してください。折り返しお返事をさせていただきます。どうぞよろしくをお願いします。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号番号 01720-9-126351
加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351
加入者名： NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会
カナ名称 (全角)：トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウオシエンズルカイ (注：ヲ→オ)

現地活動報告（山元先生から）

みなさまお元気ですか。日本は段々寒くなっていることと思います。

私は10月19日にルサカに戻りました。勤務している日本の病院の関係で、こちらに戻るのが少し遅れました。ルサカは雨季が近いのか、昼間はとても暑いですが、ただありがたいことに。朝晩は涼しく、比較的しのぎやすいです。写真のように火焰樹の真赤な花があちこちで咲き誇っています。紫の花はジャカラングダです。

私の不在の間も、みんなが協力して、巡回診療はきちんと継続されていました。とてもうれしく思います。会計や事務所スタッフの監督に関しては、賛助会員のお一人の櫻井睦子さんと、こちらに滞在しておられる同じく賛助会員の山本ひとみさんをお願いしていたので、問題ありませんでした。お二人には、この場を借りて心からお礼申し上げます。ありがとうございました。ただ、以前にも問題を起こし、警告書を3通書いた若い運転手が、櫻井さんがルサカを発った後に、約1か月無断欠勤をしていました。また、デジカメが紛失していて、それが突然出てきて、中の写真が全部削除されていました。彼は以前にもカメラを持ち出し、勝手に写真を撮っていたので、今回のことを尋ねましたが、自分ではないと言い続けました。明らかな証拠がないのに彼の所為にはできませんが、悩んだ末にもうとても信頼関係を維持できないと考え、解雇することとしました。

今年も、ありがたいことに多くの方々に支援いただき、ルアノに井戸を2基掘ることができました。2基ともりっぱな柵ができて、みんなとても喜んで使っています。ある日結婚式があり、だれかが一度に約250Lのタンク6本分水を汲み上げたそうです。



井戸を使う子供達

さすがにその後1時間は水が出なかったそうです。

更なるたくさんの方々の支援をいただき、雨季が始まる前にもう3基井戸を掘ることになりました。井戸掘り業者からは大丈夫との返事がいただけましたので、昨日10月28日は村のヘッドマンとの話し合いにルアノまで出かけました。よくよく話を聞くとルアノには6村あるそうで、あと4基必要だったのですが、とりあえず人口の多い村からとのことで合意が得られ、サパン、トムプエ、ニロンゴの村に掘ることになりました。トムプエは、巡回診療を実施している中心部から約25km、サパンは12km、ニロンゴは6kmの距離です。現在はどこもかしこも乾燥して、川も完全に干上がっていて、一滴の水もありませんでした。それぞれの地区に出かけ、ヘッドマンと相談して、人々が利用しやすい、おおよその掘削する場所を決めました。また、それぞれのヘッドマンには掘削用のトラックが通れるように、道路の両側の木々を切り、道路を整備するように重ねてお願いしました。雨季が始まる前に井戸掘りが完了することを心から願って



火焰樹の木



ジャカラングダの木



ヘッドマンとの話し合い



ニロンゴ井戸掘削予定地

います。

今回の訪問で、コミュニティスクールの児童数がとても増えていて、1クラスは木の陰で授業を受けていて驚きました。児童数が増えた理由の一つは、子供たちの親が、安全な水がすぐ近くにあるので安心して子供たちを学校に通わせられるとのことでした。これも井戸ができた一つの成果だと思います。約150名の子供たちに、教師は2名、この教師も正式な研修を受けているわけではなく、ボランティアです。教育環境は決して良くありませんが、コミュニティは新たな教室造りを開始していました。できることをひとつずつ着実にやっていけたらいいと考えています。



木の下教室

ルアノに向かう途中、私たちの巡回診療の地域を管轄しているチサンバ郡保健局を訪問しました。帰国前の6月に、保健局長にこれまでの活動を報告し、レポートを提出していて、局長から州保健局と協議した結果、薬剤を提供してもいいとのメールを受け取っていたからです。局長に会うことはできませんでしたが、薬剤の管理をしている薬剤師から、今月11月分のマラリアの薬5箱とマラリア検査薬5箱(約69,000円分)を受け取ることができました。月末に患者数の報告書と薬の出納簿を提出すれば翌月の分がもらえることになりました。マラリア以外の薬剤ももらえるようにしていきたいのですが、私の不在の間の報告書をどうするか考えないとはいけません。



薬の受け取り

いろいろなことが少しずつ前向きに進んでいきます。これも、ひとえにみなさまからのご支援のたまものと考えます。ありがとうございます。

どうぞお元気でお過ごし下さい。

ザンビア情報 (在日ザンビア大使館のHP情報より)

観光情報をお伝えします

ザンビアはアフリカ1優しい国で、伝説的なアフリカのウォーキングサファリ、ビクトリアフォールズ、壮大なザンベジ川、豊かな野生生物、そして荒野の大地が楽しめます。

畏敬の念を起こさせる自然の驚異、野生生物の豊富さ、巨大な水域と広大なオープンスペースに恵まれ、ザンビアは本当のアフリカ探検、忘れられない休日を提供します。ザンビアは訪問する多くの方から世界で最も安全な国の一つとして認められ、平和に暮らすザンビアの人々が、アフリカの温かい心で出迎えてくれます。そしてあなたが出会ったことのないワイルドな自然と出会うことができ、地球上で最高のサファリ体験のいくつかを見つけられることでしょう。壮大な水路は、すべての年齢の方のために、アドレナリンスリルからのんびりとした遊び場まで提供しています。17個の壮大な瀧やビクトリアフォールズ、村の生活の味を経験することができる未開発農村部など、「カスケードフォロワー」の冒険を提供しています。また、壮大な毎日の夕日をほぼ確実に見ることができます。



TRUE WILDERNESS SAFARIS



LAKES & RIVERS

今後ともご支援のほどよろしく申し上げます。